



主人公には今が旬の市川染五郎

蝉しぐれ

藤沢文学の 傑作を映画化

いわすと知れた藤沢周平 原作の時代劇。舞台は東北 の小藩である「海坂藩」(モ デルは藤沢周平のふるさと である山形・鶴岡市)。 幼い頃から仲のいい下級 武家育ちの3人組。文四 郎、は剣術も遊びもいっし よ。そして、文四郎と近所 に住む少女・ふくは口にだ さねど互いに意識しあう仲 でした。ある日、文四郎の 父が藩の権力争いに巻き込 まれてしまい、切腹させら れてしまいます。父が残し た言葉は「父のことを恥じ るでない」のこと。同 時に、竹馬の友もそれぞれ の道に。そして、ふくは江 戸に旅立ちます。年月は過 ぎ、りりしい青年剣士に成

戸のふくは藩主の側室になりました。世継ぎを出産します。跡継ぎをめぐってあらたな権力争いの陰謀が企まれるなかで、幼なじみの3人が立ち上がります。

いい作品です。涙する場面は3回以上あります。下級武士の住居や生活をしつかりととらえた時代考証は、山田洋次監督の『たそがれ清兵衛』『隠し剣鬼の爪』に通じます。

また、四季おりおりの自然の美しさをとらえた映像も必見です。少年・少女期の文四郎とふく役の2人が新鮮です。

「忘れようと、
忘れ果てようとしても、
忘れられるものではございません。」

このシステム ガラス



リニューアル紙面の新シリーズ「おおさか三国誌」は、大阪の歴史・文化を再発見するコーナーです。

物である中央公会堂があります。ネオルネ
ッサンス式の赤レンガと青銅屋根の美しい
公会堂は中之島のシンボルにもなっています。
地上3階、地下1階、大集会室は200人を収容します。

近代の大坂で、歴史に残る集会や講演会
の舞台となつたこの中央公会堂は1918
年(大正7年)11月に完成しました。当時の
大阪の財界人で相場師だった岩本栄之助が
大阪市に寄付した100万円を資金にして
建てられました。大阪の両替商「錢屋」に生
まれた栄之助は株式仲買人として成功し、
巨万の富を得ました。財界人のアメリカ視
察旅行で、歐米の財界人らが公共施設に寄
付をしているのに触発されて、自らも中央
公会堂建設の寄付を思い立つたのでした。
しかし栄之助は、建設工事のなかばの19

2002年11月に改修工事がおわり、「お色直し」のあとの建築美が、一段と中之島の景観が映えます。伝統のある地下食堂は隠れた人気スポットです。

神様、仏様、稻尾様

元西鉄ライオンズの黄金期の稲尾和久投手。1950年代から60年代にかけて、1シーズン42勝、日本シリーズでは3連敗のあと4連投・4連勝などの野球史に輝く実績をもつ、「伝説の大投手」。その人間ばなれした活躍から、「神様、仏様、稻尾様」と呼ばれました。今年のセ・リーグ優勝の阪神タイガースにたとえると、「神様、仏様、J・F・K様」というところでしょうか。

いまも心に響く 名詩・名歌・名語録

柿くへば鐘が
なるなり法隆寺

秋を代表する俳句といえば、正岡子規のこの句を思い浮かべる人も多いでしょう。正岡子規が好物の柿を食べているときに詠んだとか。秋の深まりを風景とともに感じさせてくれる句です。1867年、愛媛・松山に生まれた子規は、実は野球の普及に大きな力を発揮しました。「打者」「走者」など、子規が考案した野球用語も多く、野球殿堂の特別表彰を受けています。



千日前のYES・NAMBAビル4F～7Fにある「ワッハ上方」



「ダイマル＆ラケット」など
芸人の等身大フィギュアも

大阪中心部の繁華街・ミナミの千日前。その一角のビルの中に「ワッハ上方」（大阪府立演芸資料館）があります。まわりには吉本興業の劇場や施設が並んでいます。ビルの4階から7階が資料館で、落語、漫才、浪曲、講談、奇術など、まさに上方演芸に関する資料を収集・展示しています。

上方演芸の殿堂

ライブラリーやおみやげも充実

ワッハ上方 (大阪府立 演芸資料館)

所在地／大阪市中央区難波千日前12
-7 YES・NAMBAビル4F
電話／06-6631-0884
交通／地下鉄、近鉄、南海の各難波駅
から5分